

吉無田で大感謝祭

12月22日、吉無田大感謝祭が上田代集落営農組合倉庫にて開催されました。当日は、約40人の参加で地元の人たちだけでなく町外からの参加もありました。感謝祭では、餅つき、しめ縄作り、そば打ち体験にそれぞれに分かれて実施。お昼になると実際に体験して作ったそばや餅を食べ、地元の猪肉もごちそうになり、参加者は感謝祭を満喫しました。北田代区代表の宮村幸盛区長は「地元の伝統や文化を町外の方や地元の人たちにも知ってもらいたい機会なので、これからも続けていきたい」と話しました。



感謝祭でたくさんのイベントが行われました

県農林水産業功労の農業部門で受賞

12月25日、熊本県農林水産業功労者表彰の農業部門で牛嶋清一さん(上野)が受賞しました。牛嶋さんは、平成3年4月から平成15年3月までに七滝土地改良区の理事長を務め、平成6年には全国的に発生した異常な渇水による被害に対し、大矢野原演習場を管轄する防衛省に用水源確保を要望、水不足の解消に尽力されました。牛嶋さんは「地域のために農業用水の確保に努めてきた。結果がこのような形で認められうれしい。地域の方に感謝しています。今後も地域のために微力ながら協力していきたい」と話しました。



表彰された牛嶋清一さん

良い年が迎えられますように

12月25日、町内小中学校の用務員が御船小学校で花の寄せ植えを行いました。これは、「子どもたちに元気で学校に来てもらいたい」という思いで作られており、毎年さまざまな門松や寄せ植えを行っています。今回の寄せ植えでは、ゴールドクレストやシクラメン、ビオラなど約9種類が植えられ、試行錯誤しながら鮮やかに彩られました。子どもたちへの思いを込めた花は、各小中学校に飾られました。



みんな笑顔で元気いっぱい！

年末警戒中異常なし！

12月27日から29日までの3日間、町消防団(吉田高之団長・377人)が年末警戒を行いました。年末警戒は、毎年火災が多くなる時期に、消防団員が詰所などに集まり、夜遅くまで警戒を行います。巡回し、団員を激励した吉田団長は「消防団の頑張りで、町民の皆さんが安心して過ごすことができます。良い年が迎えられるように引きつづき警戒に当たってください」とあいさつ。団員たちは積載車で広報活動を行い、火災予防を呼びかけました。



第9分団を激励する吉田団長



御船町に新たに

3人の地域おこし協力隊

なぜ御船町で地域おこし協力隊に？
御船町の吉無田にはたくさんの自然があり、多くの生き物がいます。私は野鳥や自然を撮影するのが趣味で、吉無田にはよく訪れては撮影し、自然を満喫していました。そんな時、愛郷吉無田で地域おこし協力隊を募集していることを知り、少しでも吉無田に恩返しができるかと思い、入隊を決意しました。
どういう活動を？
特定非営利法人愛郷吉無田に所属し、環境保護スタッフとして活動します。活動内容



まつもと こういち
松本 公一さん
天草市出身／1961年生
趣味：魚釣り、カメラ、山登り、パラグライダーなど

は主に、耕作放棄地の解消のため、そばやブルーベリーづくりなどの農作業を行っています。また、水前寺菜の花を利用して、「アサギマダラ」という珍しい蝶を呼び込むなど、さまざまな角度から環境保護活動を行いたいのです。
どういう町にしたいか
どの町中も都市部に人口が集中しがちですが、訪れる人たちはワクワクしながら「特別感」を探し求めて来ます。その「特別感」をこの吉無田で磨き、人を呼び込みたいのです。



なかもろ しんじ
中平 晋志さん
高知県出身／1980年生
趣味：自転車(マウンテンバイク)でツーリング

どういう町にしたいか
将来的には、吉無田だけでなく、自転車だけで町内を回遊することができ、自転車で遊びに来やすく、楽しんでもらえるような町にしたいです。
どういう活動を？
特定非営利活動法人愛郷吉無田に所属し、サイクルスタッフとして活動します。マウンテンバイクをはじめとする自転車を活用したイベント企画や運営を行います。また、みふね恐竜観光ガイドも受講し、恐竜の知識を絡め、さまざまな魅力的なところを掘り下げていきたい。

なぜ御船町で地域おこし協力隊に？
吉無田高原には、マウンテンバイクの大会、イベントがあり、地域を盛り上げています。私が以前勤めていた自転車屋での経験や趣味でもある自転車の魅力をもっと発信していくことで、マウンテンバイクで地域おこしを支えたいと思います。
どういう活動を？
特定非営利活動法人愛郷吉無田に所属し、サイクルスタッフとして活動します。マウンテンバイクをはじめとする自転車を活用したイベント企画や運営を行います。また、みふね恐竜観光ガイドも受講し、恐竜の知識を絡め、さまざまな魅力的なところを掘り下げていきたい。

なぜ御船町で地域おこし協力隊に？
私は入隊する前は、東京で働いていましたが、自然豊かな御船町に惹かれ、そして何より地元である御船町で働きたいという思いから入隊を決めました。私が子どもだった頃の御船町と比べると、少子高齢化が進み、商店街も減少していく中で、少し寂しい思いになりました。そこで地域おこし協力隊に入隊し、御船町の活性化に貢献しようと考えました。
どういう活動を？
御船町観光協会に所属し、イベント企画スタッフとして活動します。主な活動内容は、



しむらむら しゅうこ
嶋村 生子さん
御船町上野出身／1987年生
趣味：料理の撮影、温泉めぐり、テニス

どういう町にしたいか
子どもたちの元気が御船町を支えると思います。これからさまざまなイベントを開催し、人を呼び込むことで、たくさんの若い世代が御船町に移住してくれたいと思います。
どういう活動を？
子どもたちの元気が御船町を支えると思います。これからさまざまなイベントを開催し、人を呼び込むことで、たくさんの若い世代が御船町に移住してくれたいと思います。